

描く力
エガ
チカラ

自社の事業を
カイシャ
ミライ

KPC中堅企業「経営塾」は、自社の事業転換を具体的に考えます。企業は経営環境の変化に対応していかなければ衰退していきます。その変化をいかに読み、自社の経営資源をどこにどう活用すべきか。ベテラン講師と他社から選抜された参加者と議論をしていきます。貴社の未来を担う方に、14日間の研鑽の場にご参加頂き、経営人材育成にご活用下さい。

塾長からのご挨拶

『経営塾』は、1991年に開講したニューフロンティア塾から続く伝統ある経営幹部養成の塾であります。本塾の大きな特徴は、企業経営のベースとなる考え方や要素を学ぶだけでなく、派遣企業等のトップも参画し、プログラムの中で経営トップの視点や想いを塾生と語り合うセッションが設けられていることです。全体を通じて、塾生と講師間の関係が緊密で、手触り感のある塾となっております。

また、合宿を重ねることで塾生間の関係も親密となり、お互いが学び合う雰囲気が醸成されます。このような関係は、塾修了後も継続し、同期会を結成し、学びを継続するとともに親交を深めております。

本塾修了生の中からは、代表取締役をはじめとして経営幹部に就任された方も多く、経営の中核として活躍しております。是非、経営塾で学び、企業の中核として活躍できるベースをつくって下さい。皆様と塾でお会いできることを楽しみにしております。



(公財)関西生産性本部 評議員
中堅企業経営委員会副委員長

金井 一頼

青森大学 学長
大阪公立大学大学院 都市経営研究科 教授

『経営塾』の特徴

1 経営人材に必要なテーマを追求

経営戦略やマーケティング、財務・会計、リーダーシップなど、経営人材に必須の知識やスキルを講義や演習を通じて実践的に提供します。

2 自社の新規事業の構想を支援

ベテランの講師監修の元、損益計画書や資金計画書などの投資計画に基づいた自社の事業展開を策定・発表することで、自社の成長を促す新規事業の構想を支援します。

3 現役経営者の対話

最前線で活躍する経営トップとの問答を繰り返し、さまざまなリーダーシップの在り方を知ることで、経営人材として自らのリーダー像を明確に描く機会を設定します。

4 異業種の参加者との交流・研鑽

異業種間での交流・研鑽を行うことで、新たな気づきを促します。また修了後に同窓会活動の実施を支援することで、中長期的な人的ネットワークを構築します。

『経営塾』の指導内容

●講義・演習

下記3つのテーマを学ぶことで、自社の**新規事業の構想力**を養います。

【ドメインの把握（経営戦略）】

ドメインとは自社の存在領域のことです。企業発展における企業ドメイン、事業コンセプト、コア能力、競争優位性の問題を中心に、経営戦略の基本を学び、自社の新たなビジネスモデルの策定について検討します。

【市場の把握（マーケティング）】

マーケティングの理論を通じて、新たな価値づくりや倒産事例の研究を行います。また自社外の環境変化を読み解くことで、自社の顧客価値創造のポイントを検討します。

【経営数字の把握（財務・会計）】

経営数字のポイントを見抜くためのスキルを習得するとともに、キャッシュフロー経営と投資・回収計画について、自社の事業展開（ドメイン・チェンジ）を題材にして検討します。



●トップ問答

現役の経営者との問答を行い、自らのリーダーシップスタイルの醸成を図ります。

【過去ご登壇いただいた経営トップ】

アスカカンパニー(株)	代表取締役	長 沼 恒 雄 氏
川村義肢(株)	代表取締役	川 村 慶 氏
KOBASHI HOLDINGS株式会社	代表取締役社長	小 橋 正次郎 氏
(株) J E I	代表取締役社長	山之口 良 子 氏
塩野香料(株)	代表取締役社長	塩 野 秀 作 氏
直鞍ビジネス支援センター 社会保険労務士岡田事務所	センター長	岡 田 高 幸 氏
西島(株)	代表取締役社長	西 島 豊 氏
日鉄工材(株)	相談役	石 川 昌 弘 氏
ネッツトヨタ三重(株)	代表取締役副社長	平 野 真 也 氏
(株)阪神コンテンツリンク Billboard Japan	常勤監査役 CEO	北 口 正 人 氏
HILLTOP(株)	常務取締役	山 本 勇 輝 氏
(株)最上インクス	代表取締役社長	鈴 木 滋 朗 氏
山本光学(株)	代表取締役社長	山 本 直 之 氏
(株)ロック・フィールド	代表取締役社長	古 塚 孝 志 氏

＊上記のお役職はご登壇当時のものです

開講式／懇親会

7月21日(金) 15:00～19:00

会場：関西生産性本部 会議室、NCB会館

1. 主催者あいさつ
2. 塾長講話
3. 参加者の決意表明
4. オリエンテーション
5. 懇親会

ねらい

- ・開講式では、『経営塾』参加にあたっての決意表明を行うことで、自らの経営幹部像を明確にして研修への動機付けを行います
- ・参加者企業の経営トップから、直接に参加者への期待の表明を行っていただきます

経営戦略の基本／ドメインの把握1

7月28日(金) 10:00～20:00

7月29日(土) 9:00～16:30

会場：クロス・ウェーブ梅田(宿泊)

1. 講義：経営戦略の基本
2. ケーススタディ：バルミューダの経営
3. 演習：自社の戦略転換を考える
4. 講義：ドメインの把握①
5. 懇親会

ねらい

- ・事業コンセプトの考え方を学習します
- ・企業発展と競争優位のベースであるコア能力をどのような視点で考えるかを検討します
- ・企業ドメインの変革や拡大における全社的視点の獲得を目指します

経営数字の把握1

9月28日(木) 10:00～19:30

9月29日(金) 9:00～17:30

会場：クロス・ウェーブ梅田(宿泊)

1. 経営トップ問答②
2. 講義：決算書の読み方②
3. ケーススタディ：他社分析
4. ケーススタディ：自社分析

ねらい

- ・「貸借対照表」「損益計算書」「キャッシュフロー計算書」等の会計知識を学び、経営数字を把握するために必要な基礎知識の習得を目指します
- ・キャッシュフロー経営と投資・回収計画について、自社の事業展開を題材にして検討します
※自社の決算書を使って財務分析を行います

組織活力とリーダーシップ／ドメインの把握3

10月27日(金) 10:00～20:30

10月28日(土) 9:00～17:00

会場：クロス・ウェーブ梅田(宿泊)

1. 経営トップ問答③
2. 講義：組織活力とリーダーシップ
3. ケーススタディ：HCLTの経営
4. 演習：自社のドメイン・チェンジの検討②
5. 講義：ドメインの把握③
6. 経営トップ問答④

ねらい

- ・革新型リーダーとして、「いかに個人の力を組織の力に還元するか」について検討します
- ・ケーススタディやトップ問答から様々なリーダーシップの在り方を学ぶことで、自らのリーダーシップスタイルの体得を図ります

<不動産業・取締役社長Aさん>

自社のドメイン・チェンジを検討するにあたり、投資・回収計画まで作成することにより、難しさを痛感すると同時に、今後新規事業を検討するのに役立ちました。

<化学メーカー・開発部室長Bさん>

通常の業務では、他業種の方の話や考え方を聞くチャンスはないので、大変参考になり、自分のモチベーションアップにつながった。

ポイント

1. ドメインの把握～事業構造の転換を構想～
2. 市場の把握～現場重視のマーケティングと顧客価値創造～
3. 経営数字の把握～キャッシュフローと投資・回収～

市場の把握～失敗の研究～

8月24日(木) 10:00～19:30

8月25日(金) 9:00～17:00

会場：クロス・ウェーブ梅田(宿泊)

1. 講義&ケーススタディ：市場の視座
2. 講義：失敗の研究
3. ケーススタディ：破綻企業の分析
4. 経営トップ問答①

ねらい

- ・倒産事例の研究を通じて、企業を存続させていくためにどのような選択をすべきか多くのケーススタディを通じて検討します

ドメインの把握2

9月14日(木) 10:00～19:30

9月15日(金) 8:30～16:30

会場：クロス・ウェーブ梅田(宿泊)

1. 講義：決算書の読み方①
2. 講義：ドメインの把握②
3. 演習：自社のドメイン・チェンジの検討①

ねらい

- ・自社の将来の発展の為になぜ事業展開が必要なのかを学び、どう行っていくべきなのか、自社の課題をテーマとした事業展開(ドメイン・チェンジ)を検討します

経営数字の把握2／ドメインの把握4

11月16日(木) 9:00～19:00

11月17日(金) 8:30～17:30

会場：クロス・ウェーブ梅田(宿泊)

1. 講義：キャッシュフローと投資回収
2. 演習：事業展開における投資計画の策定
3. 演習：自社のドメイン・チェンジの発表

ねらい

- ・自社(自部門)の現在の事業構造を、「企業ドメイン」という観点から見直しを行います
- ・自社が今後発展するために必要な事業展開(ドメイン・チェンジ)を検討するとともに、その変革を実現のための投資・回収計画を、自社のキャッシュフローを前提として策定します

閉講式／懇親会

11月30日(木) 16:00～19:00

会場：NCB会館

1. 主催者あいさつ
2. 参加者の決意表明
3. 経営トップの激励
4. 懇親会

ねらい

- ・閉講式では、参加者から『経営塾』で学んだことや今後の幹部としての決意などを、お一人ずつ発表していただきます
- ・派遣責任者はそれを聞いて、今後の幹部として期待を述べ、激励をしていただきます

*上記スケジュールは開催日程の情勢を鑑みて、変更させて頂く可能性がございます。

<電設関連商社・営業部長Cさん>

日常業務上で今までは考えたことの無い見方が出来るようになった。財務諸表を分析し得意先の状況を把握するなど、ビジネスプランを考えたり、自部門での新しい商材・商流を考えるきっかけとなった。

<建設業・人事グループマネージャーDさん>

人事部門に籍を置いているため、比較的「経営」というものには近いと感じていたが、理論的にも、考え方も未熟であると実感した。私自身の仕事のなすべき領域についても考えさせられるよい機会でした。

2023年度 指導講師

青森大学 学長 大阪市立大学大学院 都市経営研究科 教授 金井 一頼 氏

1949年生まれ。1981年神戸大学大学院修了、北海道大学教授、大阪大学教授、大阪商業大学教授を経て、2012年4月より現職、専門は経営組織論。中小・ベンチャー企業研究の旗手。「日本の産業クラスター戦略」(共著・有斐閣)他、著書多数。公的委員多数就任。

(株)ブリシス経営研究所 代表取締役・公認会計士 谷川 昌司 氏

1953年生まれ。神戸大学卒業後、大阪中小企業投資育成を経て、1989年より現職。財務・経営計画分野を中心にトップマネジメント層を対象としたコンサルタントとして活躍。戦略立案、企業風土改革支援、業務改革指導などで活躍。

大阪経済大学 経営学部 経営学科 教授・税理士 吉野 忠男 氏

1959年生まれ。早稲田大学卒業、セイコーエプソン、たくぎん総合研究所を経て、北海道大学大学院修了、2015年4月より現職。専門はベンチャー企業戦略、イノベーション他。

大阪経済大学 経営学部 教授 伊藤 博之 氏

1965年生まれ。神戸大学大学院修了。滋賀大学教授を経て、2020年4月より現職。専門は経営組織論、企業統治論。著書は『100年成長企業のマネジメント』(共著、日本経済新聞出版社)、『企業統治』(共著、中央経済社)等。

滋賀大学 経済学部 教授 小野 善生 氏

1974年生まれ。滋賀大学卒業。2003年神戸大学大学院修了、関西大学准教授等を経て、現職。専門は組織行動論、リーダーシップ論。著書は、『フォロワーが語るリーダーシップ-認められるリーダーの研究-』(有斐閣)、『最強のリーダーシップ論集中講義』(日本実業出版)等、他論文多数。

(株)ブリシス経営研究所 中小企業診断士 谷川 大致 氏

1980年生まれ。神戸大学大学院修了。産業機器メーカーにて新規開拓営業、新規事業開発に従事。NEDOを経て、2022年に独立。新規事業マーケティング、産官学連携のコンサルタントとして活躍。

過去参加組織

アースインターシステムズ(株)、アイ企画(株)、アイテック阪急阪神(株)、因幡電機産業(株)、エスペックエンジニアリング(株)、エスペックテストセンター(株)、オーエス(株)、オーケー化成(株)、オムロン関西制御機器(株)、OS共栄ビル管理(株)、(株)オカノベーカーリー、岡野食品産業(株)、(株)加地テック、(株)加貫ローラ製作所、関西フジタカサービス(株)、関電プラント(株)、協和テクノロジーズ(株)、近畿労働金庫、KISCO(株)、菊正宗酒造(株)、(株)Kグランドエキスパート、鴻池運輸(株)、三陽工業(株)、三陽商事(株)、(株)サンモアテック、塩野香料(株)、塩野フィネス(株)、シプロ化成(株)、(株)昭和丸筒、(株)スギモト、住友精密工業(株)、太陽工業(株)、タカラベルモント(株)、田村駒(株)、ツジカワ(株)、(株)デザインアーク、中尾フィルター工業(株)、中日本コンテナサービス(株)、(株)ニチゾウテック、日本ピラー工業(株)、(株)パトライト、(株)ヒガシトウエンティワン、(株)フジタカ、(株)堀内機械、松尾産業(株)、(株)丸島アクアシステム、Man to Man(株)、(株)森長工務店、八千代電設工業(株)、山本光学(株)、(株)ロック・フィールド、ローランド(株)(企業名順不同)

募集要項

参加費

賛助会員 1名 ¥767,800- (10%税込)

一般 1名 ¥833,800- (10%税込)

*上記金額には資料費・食費・宿泊費・懇親会費が含まれています。

*宿泊を伴う研修については、現地集合・現地解散です。

会場

開講式 NCB会館

(大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル3階)

研修会場 クロス・ウェーブ梅田

(大阪市北区神山町1-12)

閉講式 NCB会館

(大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル3階)

対象者

次代の経営を担うミドルマネージャークラス
取締役、執行役員、工場長、部・課長 など

お申し込み

申込書またはホームページよりお申込みください
お申し込み締切日は 6月30日(金) です

お申込み・お問合せ先

公益財団法人 関西生産性本部 (経営革新部：小松・中山)

〒530-6691 大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル28階

TEL. 06-6444-6464 FAX. 06-6444-6450

URL : <https://www.kpcnet.or.jp>



お申込み・お問合せ先

公益財団法人 関西生産性本部（経営革新部：小松・中山）

〒530-6691大阪市北区中之島6-2-27中之島センタービル28階

TEL. 06-6444-6464 FAX. 06-6444-6450

URL : <https://www.kpcnet.or.jp>